

蘭越町へドローンが寄贈されました

7月22日、防災業務に役立てていただきたいと、株式会社志比川組（志比川潤代表取締役）が来庁し、蘭越町にドローン1セットを寄贈されました。

志比川潤代表取締役は「近年、ドローンを利用した様々な技術を、蘭越町の防災業務はもとより、広報業務、土木建築業務など、様々な業務に活用し、安全・安心なまちづくりに役立てていただきたい。」と寄贈の経緯について話されました。

町では、防災業務での空中撮影の活用はもとより、工事の進捗状況、イベントの記録撮影など、幅広く利活用を予定しています。



4日・第21回高齢者・障害者室内レクリエーション大会



- 第69回「社会を明るくする運動」地区内巡回啓発
- 鈴木のりたけさん講演会
- 5日・2019年J A F 全日本ラリー選手権第6戦ラリーカムイ（～6日）
- 6日・第52回町民スポーツ陸上競技大会兼第58回蘭越町小学校夏季体育大会
- 高松宮賜杯第63回全日本軟式野球大会南北海道大会（～8日）
- 7日・第6回ニセコクラシック
- 第1回町民スポーツ交流会
- 11日・「夏の交通安全運動」街頭啓発



- 13日・第28回羊蹄山ろく連合消防演習
- 16日・第1回蘭越町もみ殻熱利用実証プロジェクト推進協議会
- 17日・第70回ニセコ観音祭
- 21日・第25回参議院議員通常選挙
- 23日・第21回北海道市町村職員年金者連盟後志支部パークゴルフ大会
- 24日・第13回蘭越町グラウンド・ゴルフ夏季交歓大会
- 第1回カラオケサークル交流会
- 25日・第30回後志市町村対抗ゲートボール大会
- 27日・第6回蘭越せせらぎまつり前夜祭
- 28日・第6回蘭越せせらぎまつり
- 31日・たべりば食堂（らんこし地域食堂）



地域貢献に感謝状の贈呈

道路工業株式会社 俱知安工務事務所

蘭越町役場の駐車場区画線（白線）の補修作業をボランティアで実施し地域貢献された、道路工業（株）俱知安工務事務所（山口謙治所長）に7月8日、金町長から感謝状が贈呈されました。



蘭越建設協会（10社）

7月23日にランラン公園内のせせらぎ水路の清掃をボランティアで実施され、地域貢献として公共施設環境の環境美化に努められた蘭越建設協会（協力会社）株式会社日野・株式会社社長澤電
気・株式会社菅原組・株式会社ナカジマ・株式会社増田建設・株式会社福島建設・石田産業株式会社・有限会社社長澤設備・佐藤建設株式会社・株式会社テクノバンハウス）に対し、8月6日、金町長から感謝状が贈呈されました。



らんこ文芸

短歌（蘭越短歌会から）

若き日に作りしとビーズのバック
 姉の形見ともらいて来たり
 西條 美登

夢にても亡母の介護が出来たとき
 目覚めたあとも心ほっこり
 田中ちるは

旅人の長き情の糸たぐり
 心引き寄す古里の道
 中林 トメ

夏至に降る雨は季節の移りをば
 伝えて尚も濃緑さやか
 中屋 吉恵

姉妹で旅の思い出に買いしもの
 南部風鈴ほどよくゆれて
 野口のぶ子

軽トラに笑顔と花苗ようつんで
 会いにゆきます仲間のみなに
 宮谷内誠子

連日の練習成果を持ち帰る
 笑顔えがおの球見に拍手
 臨山 好子

ふと思ふ友と歩いた砂利道の
 石蹴りながら学校帰り
 吉田 文字

大地震の傷跡見ゆる阿蘇山に
 日がな草食む牛の千頭
 久保田飛鳥

蘭越小学校の鼓笛演奏伝統に
 終りを告げる主指揮の合図

俳句（蘭越俳句会から）

山の神暑さ凌ぎに雲の笠
 炎天下幼見ふたり蝶を追う
 中兼裕美子

早咲きて父の忌近し百合の花
 なつぞらに積丹ブルー波しずか
 西岡 孝一

〜師（故・石坂壽一氏）を偲んで〜
 石坂 寿鳳

ファイナリーの五体揺さぶる大花火



△ 7/18 清流にしか生育しないとされる
 尻別川の「梅花藻（バイカモ）」

フロックスの花畑が満開

字富岡にお住まいの片方正子さんの庭では、今年もフロックスの花が満開となりました。

片方さんは17年前から栽培を始め、当初は10株しかなかった花を、現在では1,700株、栽培面積1,200㎡まで増やしました。

この花はお盆に咲くことから「盆花」とも呼ばれ、昔はどここの家庭の庭にも咲いていたそうです。

毎年この時期に、片方さんのフロックスを觀賞に、地元や近隣町村の方のもとより、遠くは千葉県から足を運ぶ方もいらっしやるそうです。8月から9月上旬にかけてが見頃のことです。



編集室

今年は、蝉が鳴かない7月でしたが、これも異常気象の一つでしょうか。危険な暑さを乗り切るため、十分な休憩とこまめに水分をとりましょう。（松山）

夏を彩る花火大会は思い出深いもので、小さい頃、祖父の家のすぐそばで打ち上がる花火を見ながら豚串を食べていたのをよく覚えています。

家族や親戚、仲間達と一緒に同じ夜空を見上げる。打ち上げ花火は、いつの時代もいいものです。（島下）

まげし みつお 曲子 光男 日本画作品 VOL. 8



タイトル：「岬」
 出品展：「第4回日展」
 制作年：昭和36年